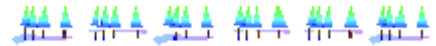


大甕小学校通信

2019年 2月号
文責：大甕小学校長 林 典行

ふるさとのよさを知り・調べ・広める



学校では、どのような子どもに育てたいか、どのような力を更に身につけさせていかなければならないか、社会に開かれた学校づくりを推進するために大切なものは何か、学校評価等をもとに様々な視点から検討を加え、来年度の教育計画を作成しているところです。

教職員個人がバラバラな考えや思いで教育を進めているのであれば、決して質の高い教育を提供することはできません。この教育計画の作成にあたっては、教職員全員が来年度の大甕小学校教育の基本方針をしっかりと共有して、同じベクトルで取り組んでいくことが大切です。

さて、その基本方針のひとつを示します。来年度は、子どもたちが進んでふるさとのよさを知り、調べ、発信する「ふるさと学習」を教育計画にしっかり位置づけて推進することになりました。東日本大震災、そして原子力発電所事故により甚大な被害を受け、地域コミュニティの形成にも大きな支障をきたすことになったこの地方の学校だからこそ、ふるさとに愛着を持ち、誇りに思うような子どもたちを育てることが我々の使命ではないかと考えるからです。

しかし、この「ふるさと学習」は、学校だけで行うには限界があります。教職員すべてがこの地方の歴史や産業、伝統文化等に造詣が深いわけではありません。ふるさとのことをよく知る地域や家庭の皆様のお力添えが必要となります。

これにつきましては、大甕生涯学習センターのお取り計らいで、地域の多数の皆様が「ふるさと学習指導員」としてご協力いただけることになりました。学校として非常にありがたく、そして心強く思っているところでございます。今後ともよろしくお願いいたします。



ふるさと学習・その1 ～相馬盆唄～

「ふるさと学習」は、各学年とも今年度よりできるところから取り組んでいるところです。この様子はホームページでその都度掲載しておりますが、学校便りでも一部ご紹介します。

6年生は、相馬野馬追や相馬盆唄の由来など、市の博物館学芸員をお招きして学習してきましたが、1月29日（火）「ふるさと学習指導員」の皆様のご指導により相馬盆唄を歌ったり踊ったりして、ふるさとの伝統文化に親しむ学習を行いました。これからは、教えていただいた踊りに磨きをかけ、下級生に伝授しようと意気込んでいます。

当日、大甕地区民生委員長の長谷川さんから手作りの篠笛を20本頂戴しました。相馬盆唄の演奏体験等に活用させていただきます。ありがとうございました。



ふるさと学習・その2 ～凧づくり～

1月30日（水）1・2年生は石神地区老人会長の阿久津さんに凧づくりを教えてくださいました。日本の伝統的な遊びを体験するための製作活動を通し、自分のふるさに目を向けるよい機会となったと思います。凧づくりにお手伝いいただきました、多くの保護者・家庭の皆さんに深く感謝申し上げます。



ポーセリンアート完成

世代間交流事業として実施されたポーセリングアートが焼き上がり、大甕区長会長の畑島さんより全校児童分いただきました。ありがとうございました。



2月の予定

- 1日(金) 節分集会
- 4日(月) なわとび大会(1・2年)
- 5日(火) なわとび大会(3・4年)
- 6日(水) なわとび大会(5・6年)
- 14日(木) 新入生1日入学 弁当日
- 15日(金) バイキング給食(6年) 弁当日(1～5年)